

放送大学におけるリカレント教育

放送大学学園
2023年9月28日



本日お話しすること

1. 放送大学について
2. 放送大学におけるリカレント教育の位置づけ
3. 大学のリカレント教育への期待
4. リカレント教育の充実に向けた放送大学の取組
5. 大学のリカレント教育への期待に応えられているか
6. 放送大学が担う企業と連携したリカレント教育・リスキリングのあり方

1. 放送大学について

いつでも

テレビ、ラジオ、パソコン、
スマホでいつでも好きな
時間に自宅等で学習可能



日本で最初かつ唯一の
放送による

4年制大学
学位取得が可能

豊富な授業科目を提供


約**3400**科目※

※放送授業科目とオンライン授業科目、面接授業を含む

だれでも


学ぶ意欲があれば
だれでも入学可能※
学びたい意欲に応える
優しい学費設定
※学力試験はなく書類選考のみ


学生数



約**8,5**万人

さまざまな世代、
職業の方が学べる
学習環境

累計で  **182**万人

卒業生は  約**14**万人

どこでも

自宅など好きな時間、場所で学習が可能

全都道府県に設置された
放送大学のキャンパス

全国

57か所



安価な
入学料と授業料

学びたい
単位数に **¥**
応じた
授業料設定

* データはすべて2023年4月時点

1. 放送大学について

放送大学の沿革

昭和58年	4月	放送大学設置
昭和60年	4月	一部の学習センター（南関東地域等）で学生受入れ開始 放送（テレビ及びFMラジオ）による授業開始
平成10年	1月	CSデジタル放送による全国放送開始（平成24年3月終了）
	10月	全国の学習センターで全科履修生受入れ開始
平成13年	4月	放送大学大学院修士課程設置
平成15年	10月	特殊法人から特別な学校法人に移行
平成23年	10月	BSデジタル放送開始
平成26年	4月	放送大学大学院博士後期課程設置
平成27年	4月	オンライン授業配信開始
令和2年	5月	インターネット配信公開講座配信開始
令和4年	7月	Web単位認定試験の試行開始
令和5年		創立40周年
令和5年	4月	海外からの受講に向けたモニター調査の開始



2. 放送大学におけるリカレント教育の位置づけ

放送大学の社会的使命（目的）の変化

開学当初

〔放送大学の基本計画に関する報告（昭和50年12月17日）要約〕

- ① 生涯学習機関として、広く社会人等に大学教育機会を提供
- ② 新しい高等教育システムとして、新規高卒者に対し柔軟な大学進学機会を保障
- ③ 既存の大学との連携協力のもと単位互換、教員交流、放送教材の普及などにより大学教育全体の改善を実現



令和5年現在〔教学Vision2027（令和4年3月）〕



- ① 人生100年時代における生涯学習を広汎かつ多様に支援する
- ② 職能開発・キャリアアップのための多様なリカレント教育機会を提供する
加速度的に進展する技術革新や刻々と変化する人材需要に対応し得る職業・資格関連科目を質的・量的に充実させ、多様なリカレント教育への要請に応える。
- ③ 人々に広く学位取得への道を開放する
- ④ 学術研究の推進と教育イノベーションにより高等教育の内容的および方法的進歩に寄与する

40th
Anniversary
 放送大学

3. 大学のリカレント教育への期待

(前回分科会での大久保委員のご発表の資料を参考にさせていただきました。)

https://www.mext.go.jp/content/230808-mxt_syogai03-000031253_1.pdf

1. 最新のリスキリングのニーズの反映
2. 学習コンテンツの効率的な開発
- 3a. いつでもどこでも
- 3b. 手軽に、学びたい事項だけ学べるしくみ
4. 学習成果を保証する講習・講座

4. リカレント教育の充実に向けた放送大学の取組

○インターネット配信公開講座の充実

○Web単位認定試験

○学習センターによる面接授業・ライブWeb授業の充実

○職能開発・キャリアアップのためのリカレント教育の機会の提供

○企業・地域等のニーズ反映

○単位科目と非単位科目の違い

タイプ	種類	長所	短所
単位科目	<ul style="list-style-type: none">・放送授業・オンライン授業・面接授業・ライブweb授業※	<ul style="list-style-type: none">・教育の質保証・単位の認定・教材の提供	<ul style="list-style-type: none">・制作に時間がかかる。・学生になる必要がある。
非単位科目	<ul style="list-style-type: none">・生涯学習支援番組・インターネット配信公開講座*・公開講演会（オンラインのものもある）	<ul style="list-style-type: none">・柔軟に制作可・広く提供可能	<ul style="list-style-type: none">・大学の授業科目ではない。・教材が必ずしも提供されない。

数理・データサイ
エンス・AI講座は
ここ

※ライブWeb授業は令和3年11月から試行実施

*インターネット配信公開講座は令和2年5月から開始

○インターネット配信公開講座の充実 例：数理・データサイエンス・AI教育

放送大学の数理・データサイエンス・AI講座

現代社会においては、ビッグデータの収集・蓄積・分析やAIの活用によって、社会的な問題の解決や新たな価値の創造が期待されています。そのためには、「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能が重要であると言われるようになってきました。放送大学のインターネット配信公開講座では、数理・データサイエンス・AIについて、オンデマンドで好きな時間に学修できます。

放送大学の講座の特徴

- 15 min**
隙間時間に15分からでも学べる
- スマートフォン、タブレットからすぐに学べる
- 豪華な講師陣**
数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムの拠点校を含め、多くの大学や企業から、数理・データサイエンス・AIを専門とする講師が参加しています。
- リテラシーレベルと応用基礎レベルは、数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム策定のモデルカリキュラムに対応しています。**
- 修了者には認証状とデジタルバッジを発行します**
①各講座を修了した方には、認証状とデジタルバッジ(電子証明書)を発行します。
②デジタルバッジは、国際的に認証されている技術を用いています。内部データとして講座の内容等が記録され、改ざんの有無も確認できます。
※本講座は授業科目ではないため、放送大学では単位認定は行いません。
- 教育機関での授業利用や企業等での研修に団体受講がおすすめです**
※裏表紙

目次

- 放送大学の講座の特徴 2
- リテラシーレベル 3
- 応用基礎レベル 5
- モデルカリキュラムと講座の対応表 6
- 発展・専門 7
- インターネット配信公開講座の受講登録方法 裏表紙
- 教育機関・企業等での団体受講について 裏表紙



国の「AI戦略」における育成目標と放送大学の数理・データサイエンス・AI講座

育成目標(2025年)
トップクラス育成 100人超/年

エッセンスパート 2,000人

応用基礎 20万人
高校の一部、高校・大学の50%

リテラシー 60万人
大学・高専卒業生全員

100万人
高校卒業生全員、小中高生全員

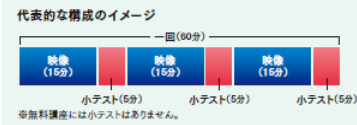
放送大学の数理・データサイエンス・AI講座
発展・専門
応用基礎レベル
リテラシーレベル

出典：内閣府政策経路室「科学技術・イノベーション担当」作成「AI戦略2019【概要】」29

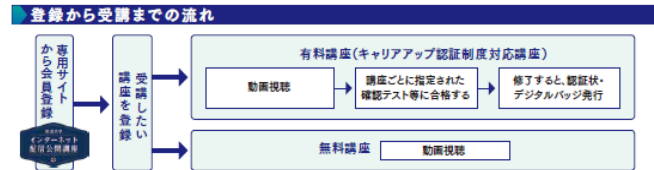
インターネット配信公開講座とは？

数理・データサイエンス・AI講座は、インターネット配信公開講座として開講しています。インターネット配信公開講座とは、キャリアアップや生涯学習に役立つ講義をインターネットを通じて提供するものです。

- 放送大学の学生以外の方も、どなたでも受講することができます。
- 講座はオンデマンドで、いつでもどこでも自分のペースで受講することができます。
- 講座の開講期間中はいつでも受講を開始できます。
- キャリアアップ支援認証制度対応講座(有料)を修了するとPDFデータである認証状に加え、オープンバッジと呼ばれるデジタル証明書を獲得できます。デジタルバッジはシステムからダウンロード、またはリンクを取得することで証明書として自分のブログやSNSで公開することができるほか、入試や就職の際の電子履歴書としての利用が期待される技術です。
- 生涯学習支援番組として放送しているものの一部を公開講座として配信しており、無料で視聴いただける講座も多数あります。



インターネット配信公開講座の受講登録方法



会員登録の流れ

- 1 放送大学インターネット配信公開講座ログインページ(右のQRコード)へアクセスします。
 - 2 会員登録へ進む。利用規約を確認後、メールアドレスを入力して仮登録します。会員登録は無料です。
 - 3 登録したメールアドレスに送信されるメールを開き、アカウントの本登録を行います。
 - 4 会員登録が完了したら、再度「放送大学インターネット配信公開講座」ログインページへアクセスしてログインします。
 - 5 受講したい講座を選んで受講登録ボタンを押すと視聴開始ができます。
- ※無料講座の受講料の支払方法は、クレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easyからお支払いいただけます。



教育機関・企業等での団体受講について

具体的な利用のイメージ

- 大学等の授業において本講座を教材としてご利用いただけます。本講座を利用した学修を授業に計画的に組み込み、教員による指導や試験等での成績評価を行うことにより、単位認定いただくことも可能です。その他、授業科目の副教材や自習用教材など、様々な形で柔軟にご利用いただけます。
- 企業等における職員研修向けのeラーニング教材としてもご利用いただけます。※本講座は公開講座として開講するため、放送大学では単位認定は行いません。

団体受講向け特別パッケージ(リテラシーレベル・応用基礎レベル)

- リテラシーレベルと応用基礎レベルの講座には、団体受講向けの特別パッケージをご用意しています。(発表・専門については個人受講の場合と同じです。)
- 団体が指定した組合せの講座を修了したことを証明するデジタルバッジも発行します。

リテラシーレベル

5講座セットで受講者40人まで **200,000円**

※40人を超える場合は、超える人数1人につき5,000円を加算します。

開講期間 6か月間(①4月~9月、②9月~2月)

※開講期間の途中からでも、随時利用を開始することができます。

応用基礎レベル

3講座セットで受講者40人まで **500,000円**

※40人を超える場合は、超える人数1人につき12,500円を加算します。

開講期間 6か月間(①4月~9月、②9月~2月)

※開講期間の途中からでも、随時利用を開始することができます。

団体受講にてご利用いただいた団体の紹介(一部)



申込方法

団体受講をお考えの方は、右記問い合わせ先までご連絡ください。※申込み後、受講開始までに少しお時間がかかる場合がございますので、余裕を持ってお問い合わせください。

団体受講の問合せ先 **ds-support@ouj.ac.jp**



放送大学本部 / 〒261-8586 千葉県夷区若葉2-11
TEL 043-276-5111 (総合受付)
放送大学は放送大学学園(文部科学省・総務省所管)によって設置された正規の大学です。



2023年4月発行

○インターネット配信公開講座の充実 例：数理・データサイエンス・AI教育

インターネット配信公開講座とは？

数理・データサイエンス・AI講座は、インターネット配信公開講座として開講しています。

インターネット配信公開講座とは、キャリアアップや生涯学習に役立つ講義をインターネットを通じて提供するものです。



インターネット配信
公開講座について
(本学ウェブサイト)

期待の3a.

- 放送大学の学生以外の方も、どなたでも受講することができます。
- 講座はオンデマンドで、いつでもどこでも自分のペースで受講することができます。
- 講座の開講期間中はいつでも受講を開始できます。
- キャリアアップ支援認証制度対応講座(有料)を修了するとPDFデータである認証状に加え、オープンバッジとよばれるデジタル証明書を獲得できます。デジタルバッジはシステムからダウンロード、またはリンクを取得することで証明書として自分のブログやSNSで公開することができるほか、入試や就職の際の電子履歴書としての利用が期待される技術です。
- 生涯学習支援番組として放送しているものの一部を公開講座として配信しており、無料で視聴いただける講座も多数あります。

代表的な構成のイメージ



※無料講座には小テストはありません。

短時間で区切られている。→期待の3b.に関連

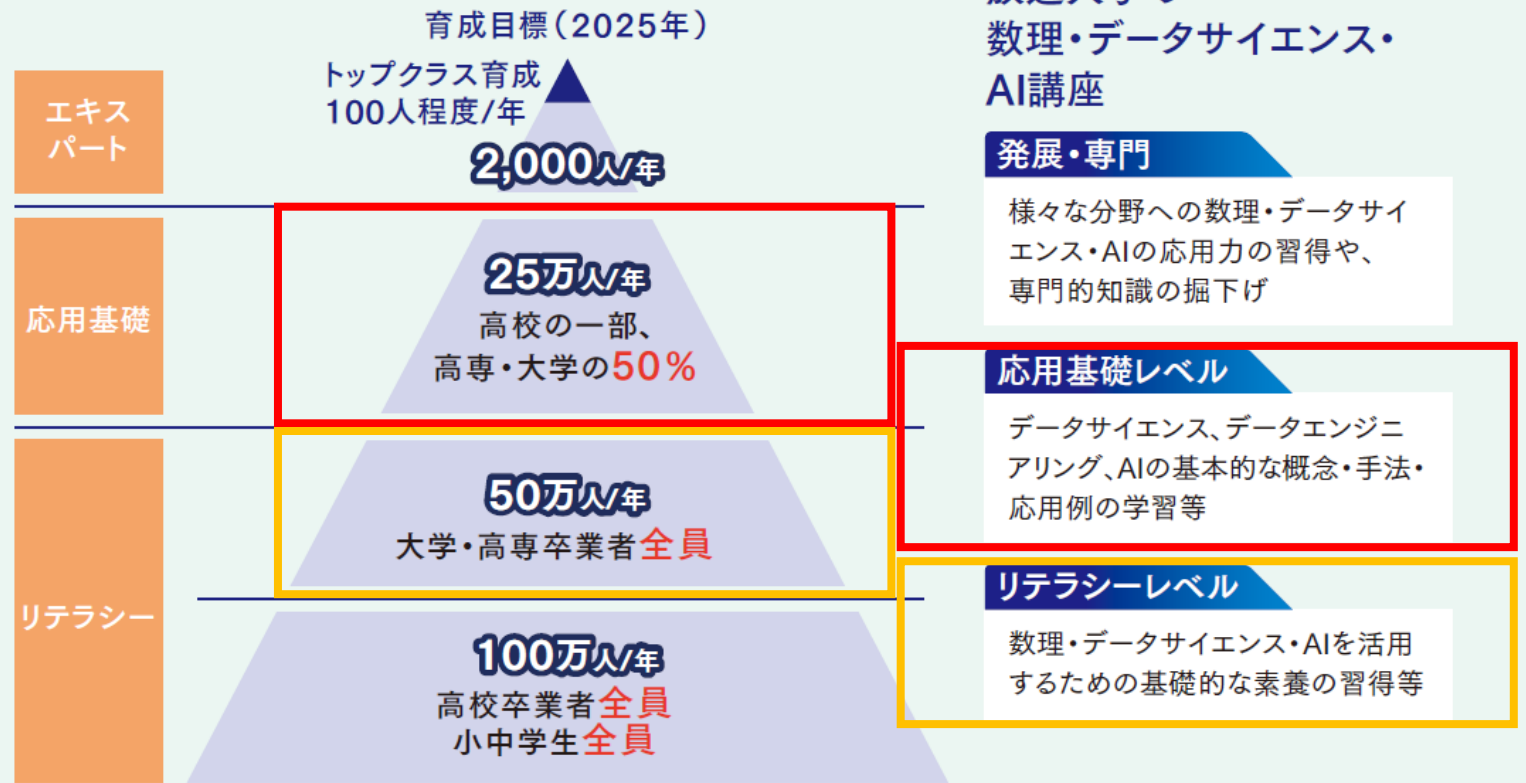


デジタルバッジの例

○インターネット配信公開講座の充実 例：数理・データサイエンス・AI教育

国の「AI戦略」における育成目標と放送大学の数理・データサイエンス・AI講座

出典：内閣府政策統括官
(科学技術・イノベーション担当)作成
「AI戦略2019【概要】」より



本講座の構成は、国のAI戦略における育成目標を踏まえている。→ **期待の1.**

○インターネット配信公開講座の充実 例：数理・データサイエンス・AI教育

モデルカリキュラムと放送大学講座の対応表

リテラシーレベル

モデルカリキュラム上の分類		学修内容	放送大学の開設講座
1. 社会におけるデータ・AI活用(導入)	1-1. 社会で起きている変化	社会で起きている変化を知り、数理・データサイエンス・AIを学ぶことの意義を理解する AIを活用したあたらしいビジネス/サービスを知る	「データサイエンス基礎から応用」 「数理・データサイエンス・AIリテラシー講座 導入」
	1-2. 社会で活用されているデータ	どんなデータが集められ、どう活用されているかを知る	
	1-3. データ・AIの活用領域	さまざまな領域でデータ・AIが活用されていることを知る	
	1-4. データ・AI活用のための技術	データ・AIを活用するために使われている技術の概要を知る	
	1-5. データ・AI活用の現場	データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているかを知る	
	1-6. データ・AI活用の最新動向	データ・AI活用における最新動向(ビジネスモデル、テクノロジー)を知る	
2. データリテラシー(基礎)	2-1. データを読む	データを適切に読み解く力を養う	「デジタル社会のデータリテラシー」 「数理・データサイエンス・AIリテラシー講座 基礎」
	2-2. データを説明する	データを適切に説明する力を養う	
	2-3. データを扱う	データを扱うための力を養う	
3. データ・AI活用における留意事項(心得)	3-1. データ・AIを扱う上での留意事項	データ・AIを活用するうえで知っておくべきこと	「数理・データサイエンス・AIリテラシー講座 心得」
	3-2. データを守る上での留意事項	データを守る上で知っておくべきこと	
4. オプション(選択)	4-1. 統計および数理基礎	数学基礎および統計基礎を学ぶ	※「Rで学ぶデータサイエンス入門」では、統計解析ツールRを使って実際にデータを扱い、分析しながら、データサイエンスの分析手法の基礎と基本的な考え方を習得します。
	4-2. アルゴリズム基礎	アルゴリズム基礎を学ぶ	
	4-3. データ構造とプログラミング基礎	データ構造とプログラミング基礎を学ぶ	
	4-4. 時系列データ解析	時系列データ解析の概要を知る	
	4-5. テキスト解析	自然言語処理の概要を知る	
	4-6. 画像処理	画像解析の概要を知る	
	4-7. データハンドリング	大規模データをハンドリングする力を養う	
	4-8. データ活用実践(教師あり学習)	データ活用プロセス(教師あり学習)を体験し、データを使って考える力を養う	
	4-9. データ活用実践(教師なし学習)	データ活用プロセス(教師なし学習)を体験し、データを使って考える力を養う	

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム策定のモデルカリキュラムに準拠

オプションとされる事項については、「Rで学ぶデータサイエンス入門」を提供。

注：「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム」は、2022年度から「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」に名称変更。

○インターネット配信公開講座の充実 例：数理・データサイエンス・AI教育

発展・専門

発展・専門は、様々な分野や観点についてより深く学ぶことができる講座です。リテラシーレベルや応用基礎レベルの学修を終えて、もっと掘り下げて学んでみたいと思った方にお勧めします。

統計的因果推論の考え方と技術

因果関係の確立は、ほぼすべての研究あるいは業務の目的と言っても過言ではないでしょう。統計を学ぶと、因果関係と相関関係は違うという注意がなされます。データサイエンスをより深く理解し、それを実践するために不可欠な、因果関係を確立するための正しい考え方とそれを活用するための技術を学びます。

受講料：
16,000円

ニューラルネットワーク概論

現代AIの基盤を支えるニューラルネットワーク(深層学習)技術の基礎を学びます。ニューラルネットワークは生物の情報処理様式からヒントを得た計算技術です。ここでは、ニューラルネットワークを構成する要素からはじめて、現代の画像処理技術の中心を担っている深層学習を学んでいきます。

受講料：
8,000円

機械学習概論

機械学習は数学や計算機科学、脳科学といった分野の知識を結集した研究分野です。この講義では、機械学習の基本的な手法や学習能力を向上させるための基本技術を理解することを目指します。

受講料：
16,000円

AIプロデューサー ～人とAIの連携～

AIに携わる人材の育成は、日本における喫緊の課題となっています。その中で求められる新しい人材が、AIの技術の可能性を探る工学的視点と、技術を業務にどう役立てるかという経営学的視点を兼ね備え、人との連携が容易なAIシステムを設計し、提言していく「AIプロデューサー」です。この講義では、実践事例を交えながら、AIプロデューサーの役割とAIの有効活用について考えます。

受講料：
16,000円

データサイエンス革命

データサイエンスが仕事や社会を変えようとしています。データサイエンスには、単にデータを分析することだけでなく、社会の価値に結びつけることまでが要求されています。そのため、課題解決に至る道筋を描く力も必要です。専門家による講演を通してデータサイエンスを概観します。

受講料：
無料

ソフトウェア開発への応用

ソフトウェア開発プロセスを概観し、ソフトウェア開発に係るデータの可視化、測定と分析の方法について学びます。また、機械学習のための知識とスキルについても理解し、より高品質なソフトウェア開発ができることを目指します。

受講料：
16,000円

多変量データ分析実践の基礎

データ分析の事例を紹介しながら統計学における様々な分析手法を学びます。住宅市場、家計調査等幅広いデータを用いて学習を進めていきます。

受講料：
10,000円

リハビリテーション科学のDX

データサイエンスの手法が、リハビリテーション分野でどのように活用されるのか、豊富な事例を交えて解説を行うことで計測と解析手法について学びます。

受講料：
6,000円

データ科学としての言語研究の可能性

私たちは言葉を使って考え、人とやりとりしています。そうした言葉の側面に光を当てる言語研究でも、データサイエンスが活躍しています。人が書いた文章をデータとして解析するテキスト研究の成果と、意識化される以前の脳の働きを捉える神経言語学の方法を紹介し、言語研究におけるデータサイエンスの可能性を探ります。

受講料：
2,000円

地理空間情報とデータサイエンス

地理空間情報のデータ分析について、基礎的な統計分析からAIや機械学習の活用まで、さまざまな分析、解析の手法を学習します。実際のデータや活用事例を紹介しながら学びを進めます。

受講料：
8,000円

心理学研究への応用

データサイエンスやAI分野の影響は、心理学にも届いており、機械学習や統計モデリングといった数理的手法を用いて新たな知見を生み出しています。従来の心理学の方法論にデータサイエンスがどのような影響を与え、活用されているのかについて学びます。

受講料：
18,000円

企業経営における実際

マーケティング分野、経営分析でのデータサイエンスの活用を理解するために、様々なビジネスへの応用事例を解説します。これによって、現代にいたる情報利用の変遷と共にビジネスにおけるデータの重要性を学びます。

受講料：
8,000円

コミュニケーション学への応用

量的手法を用いてコミュニケーション学分野の研究を行う際に多く用いられる尺度作成、仮説検定、分析手法などを紹介しながら、コミュニケーション学で用いられるデータサイエンスの手法について学びます。

受講料：
2,000円

発展・専門の講座では、多様なテーマの中から関心のあるものを選んで受講できる。

→ **期待の3b.に関連**

○インターネット配信公開講座の充実 例：数理・データサイエンス・AI教育



隙間時間に
15分からでも学べる



スマートフォン、タブレット
からすぐに学べる



多彩な講師

数理・データサイエンス教育強化
拠点コンソーシアムの拠点校を
含め、多くの大学や企業から、数
理・データサイエンス・AIを専門
とする講師が参加しています。

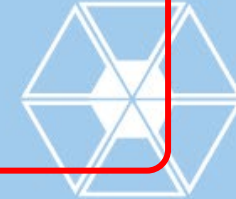


修了者には認証状とデジタルバッジを発行します

- ①各講座を修了した方には、認証状とデジタルバッジ(電子証明書)を発行します。
- ②デジタルバッジは、国際的に認証されている技術を用いています。内部データとして講座の内容等が記載され、改ざんの有無も確認できます。

※本講座は授業科目ではないため、放送大学では単位認定は行いません。

リテラシーレベルと応用基礎レベルは、
数理・データサイエンス教育強化拠点
コンソーシアム策定の
モデルカリキュラムに
対応しています。



カリキュラム



教育機関での授業利用や
企業等での研修に
団体受講がおすすめです

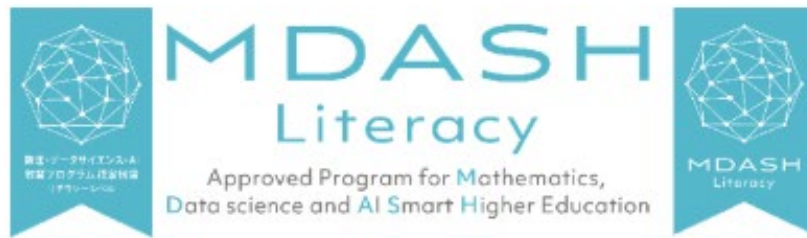
▶裏表紙

放送大学が独力で講座を開発、提供しているわけではない。外部機関との連携はほぼ必須。・・・期待の1.および2.と関連

○インターネット配信公開講座の充実 例：数理・データサイエンス・AI教育

学生向けプログラム

- 情報関連の科目として学部56科目、大学院15科目を開講（2023年度）。幅広い科目の中から、自分にあったものを履修できる。
 - これらに加えて、面接授業（対面授業）として開設される科目もある。
- 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の趣旨に適合するように科目を選び、本学の教育プログラムである「科目群履修認証制度」のプラン2つ（データサイエンスリテラシープラン、データサイエンスアドバンスプラン）を設定。
 - 両プランは、文部科学大臣が認定及び選定する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル、応用基礎レベル）」として認定。



数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度
リテラシーレベル
(認定の有効期限：令和9年3月31日まで)



数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度
応用基礎レベル
(認定の有効期限：令和9年3月31日まで)

○インターネット配信公開講座の充実 例：教職支援講座

▶▶▶ 放送大学の関連講座・科目のご紹介 ◀◀◀
(放送大学で教職支援講座での学びを深めてみませんか。)

1 教員向けのインターネット配信公開講座 プログラミング教育プラン

2020年度からプログラミング教育が全小中学校でスタートしています。放送大学では、プログラミング教育の指導法をオンデマンドで学べるインターネット配信公開講座も開講しています。修了時には電子証書（認定状及びデジタルバッジ）を発行します。また、団体受講も受け付けています。

小学校プログラミング教育 導入編	受講料	3,000円(全3回)
Scratch プログラミング指導法	受講料	8,000円(全8回)
小学校プログラミング教育 実践編	受講料	3,000円(全3回)
中学校・高等学校プログラミング教育 導入編	受講料	3,000円(全3回)

受講登録 (2週間以内) → 講義視聴 (1回約10分) → 小テスト → 終了テスト → 合格すると... → 認定状 (デジタルバッジ)

※こちらは教職支援講座と同じく、インターネット配信公開講座です。

2 授業科目 教養学部 300科目 大学院 60科目

学生であれば全ての科目がインターネットで視聴できます。

放送大学では、教育に関連する科目を多数開講しています。例えば以下のような科目があります。

学部・学科	科目名	学部・学科	科目名
教養学部	教育社会学概論(19)	教養学部	学校リスク論(22)
教養学部	特別支援教育概論(19)	教養学部	日本の教職論(22)
教養学部	肢体不自由児の教育(20)	教養学部	教育のためのICT活用(22)
教養学部	臨床心理学概論(20)	教養学部	新時代の生徒指導(23)
教養学部	情報化社会におけるメディア教育(20)	教養学部	今日のメンタルヘルス(23)
教養学部	現代教育入門(21)	修士課程	教育行政と学校経営(20)
教養学部	ビートルズde英文法(21)		

入学時期は **4月・10月の年2回**

4月入学出願期間：11月下旬～3月中旬
10月入学出願期間：6月中旬～9月中旬

入学料・授業料(2023年度)

区分	入学料	授業料	入学料の割引
教養学部	全科目履修生	24,000円	学校等から20名以上の集団入学をした場合または、公立学校共済、国家公務員共済組合員、日本私立学校振興・共済事業団加入者専用募集要項より出願した場合は半額割引
	選科履修生	9,000円	
	科目履修生	7,000円	
修士課程	修士選科生	18,000円	1単位あたり11,000円
	修士科目生	14,000円	

※ 学費は、次学期以降に改定する可能性があります。詳細は本学ウェブサイト等で随時お知らせします。
※ 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

教養学部・大学院の募集要項を無料で送ります。ウェブサイトよりお申し込みください。

■ 出願期間・方法等について、詳しくは本学ウェブサイトまたは学生募集要項にてご確認ください。
放送大学ウェブサイト www.ouj.ac.jp

資料請求・入学に関するお問い合わせ：043-276-5111(総合受付)

放送大学

教職支援講座

教職への復帰を目指す方や
教職への挑戦を考えている方へ
放送大学の教職支援講座で学んでみませんか？

Point 1 講座の特徴
Point 2 会員登録のみで無料で受講いただけます
Point 3 オンデマンドでいつでもどこでも自分のペースで学べます
Point 4 一部の講座だけでも自由に受講いただけます

現代の学校教育と教師

受講方法

- 「放送大学インターネット配信公開講座」ログインページへQRコードからアクセスします。
- ログイン画面から会員登録へ進み、利用規約を確認後、メールアドレスを入力して会員登録します。(登録無料)
- 登録したメールアドレスに送信されるメールを開き、アカウントの本登録を行います。
- 会員登録が完了したら、再度「放送大学インターネット配信公開講座」ログインページへアクセスしてログインします。
- 受講したい講座を選んで受講登録ボタンを押すと視聴開始できます。

4月5日(土)～順次公開予定

インターネット配信公開講座 ログインページ

教職支援講座に関するお問い合わせ先 | 放送大学学園総合戦略企画室
E-mail: sogo-senryaku@ouj.ac.jp

教職支援講座は無料で受講できる。

数理・データサイエンス・AI教育以外の分野でも、従来の教養教育の枠を超えたりカレント教育への取り組みを進めている。

インターネットを通じて学習でき、5つの講座から好みのものを受講できる(今年度中にさらに改善予定)。

40th
Anniversary
 放送大学

4. リカレント教育の充実に向けた放送大学の取組

○Web単位認定試験

⇒「いつでも」「どこでも」「だれでも」を加速

〈単位認定試験時に試験会場へ行かなくても良い！！〉

○いつでも → 期間中24時間受験可

○どこでも → Web環境があればどこでも受験可、自宅等から移動の必要なし

○だれでも → 自分の生活スタイルに合わせて受験が可能



学期	《参考》2019年	2022年 1 学期	2022年 2 学期	2023年 1 学期
単位認定試験受験率	82.4%	90.9%	90.0%	90.0%

※受験率は、延べ受験者数を延べ受験有資格者数で除して得た率。

2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で郵送による単位認定試験を実施したため

Webによる単位認定試験の開始前の参考として2019年度（決められた日時に試験会場で実施）の受験率を記載。

4. リカレント教育の充実に向けた放送大学の取組

○学習センターによる面接授業・ライブWeb授業の充実

〈面接授業〉

○放送授業・オンライン授業では実施が難しい実習・実験的授業を実施できる。

○全国57の学習センター・サテライトスペースにおいてそれぞれの地域の特性を活かした授業を実施できる。



4. リカレント教育の充実に向けた放送大学の取組

○特色ある面接授業の例①

◆地域の大学の研究を活かしたもの

- ・環境放射線を知る（宮城SC…東北大学）
- ・ワインの基礎知識（山梨SC…山梨大学ワイン科学研究センター）
- ・野菜の養液栽培と植物工場（千葉SC…千葉大学）
- ・海水増養殖－海を耕す（和歌山SC…近畿大学水産研究所）
- ・自然災害と防災（福岡SC…九州大学の地震・洪水・防災等の研究者のリレー講義）
- ・デザイン思考（福岡SC…九州大学芸術工学部の新しい「デザイン」研究に基づく講義）

◆地域の産業に関するもの

- ・航空ビジネスについて知ろう（千葉SC…（株）ANA総合研究所と連携）
- ・灘五郷日本酒学（兵庫SC…灘の酒造メーカー各社）
- ・ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化（佐賀SC…佐賀県立九州陶磁文化館）

4. リカレント教育の充実に向けた放送大学の取組

○特色ある面接授業の例②

◆フィールドワーク

- ・白神学－白神の動物と植物
(青森SC…弘前大学白神自然環境研究センター)
- ・群馬の自然：保護と利用 (群馬SC…尾瀬ヶ原)
- ・海洋生物の多様性と適応進化 (新潟SC …新潟大学佐渡自然共生科学センター)
- ・洋上実習 (長崎SC、鹿児島SC…長崎大学、鹿児島大学の練習船上での講義)

◆特異な語学に関する授業

トルコ語、インドネシア語、ポーランド語、スワヒリ語、バスク語、ハワイ語、アイヌ語ほか



※「海洋生物の多様性と適応進化」授業風景

4. リカレント教育の充実に向けた放送大学の取組

〈ライブWeb授業〉

- 面接授業は各地の学習センターに実際に行かないと受講できない。
 - 各地域ごとのニーズでは十分な受講者が確保できない。
- ⇒2022年コロナウイルスを契機に新たな教育形態を導入。

従来のオンライン授業(2015年開始)はオンデマンド型の配信だが、web会議システムを活用し、自宅等から受講し、講義・資料閲覧・課題提出・出席登録、及び質疑応答や議論を行う同時双方向遠隔授業を開始

→各学習センターの特色ある授業の一部を全国に配信することが可能となる。

※各学習センターが地域の大学の優れた研究等の講義を全国に届けることも可能となる

今後学習センターで行う取組例

- ・各地において心理等の資格取得に必要な実習科目を面接授業で開講
→ライブWeb授業でも併せて開講
- ・地域の大学と連携してリカレント教育・リスキリングプログラムを開発
- ・地域の大学と連携して実習授業を開設

4. リカレント教育の充実に向けた放送大学の取組

○職能開発・キャリアアップのためのリカレント教育の機会の提供

【授業科目】

◆学位取得

○放送大学の課程を卒業・修了→ 学士（教養）、修士（学術）、博士（学術）

○放送大学の単位+他大学等の単位→大学評価・学位授与機構→ その他の学位（学士（看護学）等）

◆資格取得等

○必要なすべての科目が履修可能（一部は実務経験が必要）

認定心理士、臨床心理士受検資格、教員による特別支援免許の取得（知的障害、肢体不自由）、
教員による司書教諭資格取得、キャリアコンサルタント資格更新 など

○一部の科目が履修可能

公認心理士、学芸員、社会教育士、教員による上位・他教科・隣接校種免許状 など

※ 看護系については専門学校等とのダブルスクールにより、学士（看護）、准看護師による正看護師試験受験資格、特定行為に係る看護師の研修に必要な全ての単位を取得可能

◆その他の知識の修得

○単位授与（授業科目）

○科目群履修認証制度（「放送大学エキスパート」←一定の授業科目単位の履修）

○デジタルバッジ（インターネット公開講座）

【教育訓練給付制度の拡充を進めている】

⇒ただし、個人の自主的なステップアップ、キャリアアップのために使われることが多く、企業等が積極的に研修等で活用する例は少ない。

4. リカレント教育の充実に向けた放送大学の取組

○企業・地域等のニーズの反映 (三栄ハイテックス株式会社の事例)

【企業概要】

静岡県（本社）のほか、神奈川県、大阪府、愛知県等の各地に事業所を設置 L S I（大規模集積回路）設計，人口知能（A I）開発を中心としたエンジニアリングビジネス

従業員数：370名

【研修概要】

ボリュームゾーンとなる中堅社員向け研修制度充実のため放送大学授業科目の受講による研修制度の創設

- (①導入研修、②配属後研修、③キャリアアップ研修・資格研修（約10年目までを対象）、④管理職研修を実施していたが、③と④の間の10～20年目社員研修充実のため。)

受講費用は会社負担、受講時間等は就業時間内など、企業として社員のスキルアップを支援



4. リカレント教育の充実に向けた放送大学の取組

○企業・地域等のニーズの反映 (三栄ハイテックス株式会社の事例)



【受講状況】

科目履修生として88名が入学、入学者の約50%が40代、

▼人気科目（「より良い思考の技法」（16名）、「問題解決の進め方」（13名））

【放送大学を選んだ理由】

- ①時間/場所の制限がない学習環境である
 - ②全国に拠点がある
 - ③多数のコンテンツがある
 - ④カリキュラム含めて安定している
 - ⑤費用的にリーズナブル
- などが主な理由。

「視野を広げる研修制度の拡充」という本研修の趣旨に合致した。

(AI、情報学、電気電子分野におけるスキルについては、
企業内研修等での育成（ブラッシュアップ）を行えば良い。)



5. 大学のリカレント教育への期待に応えられているか

(前回分科会での大久保委員のご発表の資料を参考にさせていただきました。

https://www.mext.go.jp/content/230808-mxt_syogai03-000031253_1.pdf)

1. 最新のリスキングのニーズの反映

→ 放送大学内だけでは不可能。学外に広く情報と人材を求める必要があり、既にそのような形で進めている。

2. 学習コンテンツの効率的な開発

→ 数理・データサイエンス・AI教育はコンソーシアムとの連携のもとで実施。今後は、学習センターを通じた地元大学や地元企業との連携も視野に入れる。

3a. いつでもどこでも

3b. 手軽に、学びたい事項だけ学べるしくみ

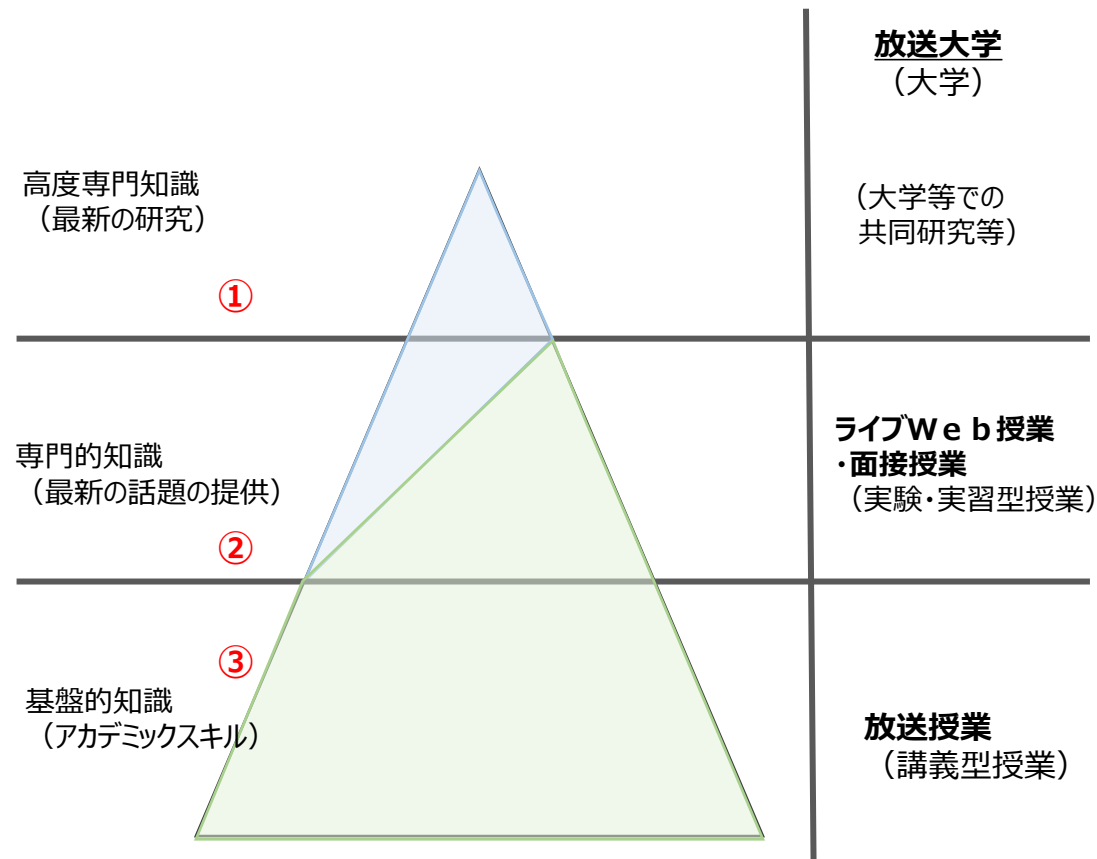
→ インターネット配信公開講座のうち学びたい回のみを受講を可能とする（準備中）。

科目、講座を分割し個別の内容の履修を可とするとともに履修認証を行う（マイクロクレデンシャル、検討中）。

4. 学習成果を保証する講習・講座

→ 教育の質保証の強化。リスキングの場合、スキルの基礎となる知識や考え方をあわせて学べるようにする必要がある。

6. 放送大学が担う企業と連携したリカレント教育・リスキングのあり方



※上記とは別に、個人ごとにステップアップのため、学位取得、資格取得、専門的な知識取得のために受講することにも対応。

- ① 専門性の高い知識は、共同研究等による大学と企業の連携が必要。
- ② 専門的な知識に関するリスキングを必要とする企業も存在し、本学ではライブWeb授業等によって最新の話題の提供が可能。
- ③ 基盤的知識を身につけるリスキングについては、放送授業等で提供することができ、本学が提供してきた知識。

ご清聴ありがとうございました。

